

県民のあゆみ

2025
5
令和7年5月号



山形県広報誌
令和7年5月号

県民のあゆみ

No.645

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページURL https://www.pref.yamagata.jp/



「サイバーセキュリティ」
このQRコードを
スマートフォンで
読み取ると
見ることができます。

- 特集 令和7年度当初予算について
- 奏であう人
- 潜入レポート!

P.02
P.08
P.16

地域の観光PRや魅力発信に取り組む「やまがた愛の武将隊」と「未来創造戦士ユメリオン」のお二人。本県の観光誘客や地域活性化に向けて活動しています。詳しくは、8ページで紹介! (撮影場所:最上広域交流センター ゆめりあ)

表紙
今月の
紙の
Qの



どうなってるの!? スーパーの裏側 (ヤマザワ)

スーパーマーケットの店員さんは、
どんな仕事をしているの?

お客さまが必要な商品を集めて売ること、
便利な生活をサポートしています。

毎日、食料品や日用品などを販売し、私たちの暮らしに
欠かせないスーパーマーケット。店員さんは、「レジ」のほ
か、野菜や肉、魚、惣菜を担当する「生鮮」、納豆や豆腐な
どの加工食品、お菓子、日用品などを担
当する「グロスアリー」の3つに分かれて
仕事をしています。一日の中で一番忙し
いのは開店前で、朝届いた商品売り
場に並べたり、野菜や肉、魚などを使い
やすく加工してパックや袋に詰めたり
と、短い時間で開店の準備をします。

開店中は、商品が一番売れる時間のお昼と夕方
に合わせて、売れている商品を売場に補充したり、惣菜を
つくったりします。お店のこだわりは、地域で愛されてい
る地元商品や、オリジナルで開発した商品と惣菜です。
定番商品に加え、地域ならではの商品を取り入れるとと
もに、お祭りやイベントに積極的に参加することで、地域
に根ざしたお店を目指しているそうです。



こだわりの惣菜は店内で調理



株式会社ヤマザワ 代表取締役社長
ふるやま としあき
古山 利昭 さん

地域の皆さまの豊かな食生活を応援するために、旬
の野菜や新鮮なお肉やお魚、惣菜を提供しています。
また、地産地消にも取り組んで地域の生産者を応援
し、地元食材を食卓へと届けています。おいしい食材
がいっぱいの山形を、これからも応援していきます。



最先端技術で売り切れなどを防ぐ!

最先端のAIによる売れ行きの予測など
を参考にして商品を仕入れることで、
売り切れや売れ残りを防いでいます。



約15畳の部屋が丸ごと冷蔵庫

巨大な冷蔵庫や超低温の冷凍庫で、
商品の鮮度を保ちます。売れた商品は
すぐに補充し、お客さまがいつでも買
えるようにしています。



地域に合わせたお店づくり

NDソフトスタジアム近くのお店では、
モンテディオ山形を応援するフラッグ
を飾るなど、地域の特色を売り場の
装飾や商品に取り入れています。



毎日の食卓に飽きない味を提供

惣菜は、クロックなどの定番商品のほか、
恵方巻などの季節商品やご当地メニュー
などを独自に開発しています。

